

会議録【要点筆記】

会議名称	令和5年度 第1回米沢市 SDGs 推進協議会																																				
開催日時	令和5年7月25日（火）午前10時～午前11時20分																																				
開催場所	米沢市役所 3階 庁議室																																				
出席者	<table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>(委員等氏名)</th> <th>(所属団体等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会長</td> <td>大河原真樹</td> <td>米沢市副市長</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>伊藤優子</td> <td>株式会社ニューメディア</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>安孫子幸一</td> <td>山形県置賜総合支庁</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>安部里美</td> <td>米沢市ブランド戦略会議 委員</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>落合倫代</td> <td>米沢信用金庫</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>菅野紀生</td> <td>社会福祉法人米沢市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>菊地 智</td> <td>山形銀行米沢支店</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>斎藤美綺</td> <td>株式会社 nitorito</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>佐々木恵</td> <td>NEC パーソナルコンピュータ株式会社</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>田畑広志</td> <td>米沢市小中学校校長会</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>中澤未美子</td> <td>米沢市男女共同参画推進委員会 委員長</td> </tr> </tbody> </table>		(委員等氏名)	(所属団体等)	会長	大河原真樹	米沢市副市長	副会長	伊藤優子	株式会社ニューメディア	委員	安孫子幸一	山形県置賜総合支庁	委員	安部里美	米沢市ブランド戦略会議 委員	委員	落合倫代	米沢信用金庫	委員	菅野紀生	社会福祉法人米沢市社会福祉協議会	委員	菊地 智	山形銀行米沢支店	委員	斎藤美綺	株式会社 nitorito	委員	佐々木恵	NEC パーソナルコンピュータ株式会社	委員	田畑広志	米沢市小中学校校長会	委員	中澤未美子	米沢市男女共同参画推進委員会 委員長
	(委員等氏名)	(所属団体等)																																			
会長	大河原真樹	米沢市副市長																																			
副会長	伊藤優子	株式会社ニューメディア																																			
委員	安孫子幸一	山形県置賜総合支庁																																			
委員	安部里美	米沢市ブランド戦略会議 委員																																			
委員	落合倫代	米沢信用金庫																																			
委員	菅野紀生	社会福祉法人米沢市社会福祉協議会																																			
委員	菊地 智	山形銀行米沢支店																																			
委員	斎藤美綺	株式会社 nitorito																																			
委員	佐々木恵	NEC パーソナルコンピュータ株式会社																																			
委員	田畑広志	米沢市小中学校校長会																																			
委員	中澤未美子	米沢市男女共同参画推進委員会 委員長																																			
欠席者	<table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>(委員等氏名)</th> <th>(所属団体等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委員</td> <td>伊藤浩志</td> <td>山形大学</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大和田浩子</td> <td>米沢栄養大学</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>数間美幸</td> <td>米沢商工会議所</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>川野敬太郎</td> <td>公益社団法人米沢青年会議所</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>香坂洋平</td> <td>一般社団法人米沢観光コンベンション協会</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>曾根伸之</td> <td>置賜地区高等学校校長会</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>中川浩一</td> <td>山形おきたま農業協同組合米沢中央支店</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>四柳徹也</td> <td>米沢地方森林組合</td> </tr> </tbody> </table>		(委員等氏名)	(所属団体等)	委員	伊藤浩志	山形大学	委員	大和田浩子	米沢栄養大学	委員	数間美幸	米沢商工会議所	委員	川野敬太郎	公益社団法人米沢青年会議所	委員	香坂洋平	一般社団法人米沢観光コンベンション協会	委員	曾根伸之	置賜地区高等学校校長会	委員	中川浩一	山形おきたま農業協同組合米沢中央支店	委員	四柳徹也	米沢地方森林組合									
	(委員等氏名)	(所属団体等)																																			
委員	伊藤浩志	山形大学																																			
委員	大和田浩子	米沢栄養大学																																			
委員	数間美幸	米沢商工会議所																																			
委員	川野敬太郎	公益社団法人米沢青年会議所																																			
委員	香坂洋平	一般社団法人米沢観光コンベンション協会																																			
委員	曾根伸之	置賜地区高等学校校長会																																			
委員	中川浩一	山形おきたま農業協同組合米沢中央支店																																			
委員	四柳徹也	米沢地方森林組合																																			
アドバイザー (オンライン出席)	ビジネス・ブレイクスルー大学大学院 経営学研究科 MBA 教授／ ビジネス・ブレイクスルー大学 経営学部 教授 谷中修吾																																				
事務局 出席者	企画調整部長、政策企画課長、政策企画課企画調整主査、政策企画課主任（企画調整担当）																																				
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 新委員自己紹介（落合委員、菊地委員）</li> <li>4 アドバイザーあいさつ（オンライン）</li> <li>5 協議             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度 SDGs 推進事業実施報告並びに予定について</li> <li>(2) SDGs 未来都市計画の進捗並びに見直しについて</li> </ol> </li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>																																				
会議資料	00_次第、委員名簿 01_(資料1) 令和5年度 SDGs 推進事業進捗並びに予定について 01-1_(参考資料1) 地域経済活性化に向けた SDGs 経営推進支援について 02_(資料2) 米沢市 SDGs 未来都市計画の進捗状況並びに見直しについて																																				
会議の公開又は非公開	公開																																				

## 会議内容

### 【1～3 省略】

### 【4 アドバイザーあいさつ】

環境省のSDGsプラットフォームの委員を務めているため、全国各地のローカルSDGsの取組について常に耳にしているが、この1、2年で、「東北地方でSDGsの取組を頑張っている地域はどこか」という話題が出た時に、私が率先して言わずとも環境省側で「米沢」の言葉を聞くようになった。これはやはり皆様が国の事業に対して進んで手を挙げて採択を受け、取組を発信し、いろいろな会議等に出席したり、企画を実施したりという積み重ねが効いている。確実に全国区で認知が得られつつあるという言い過ぎかもしれないが、国のお耳に入っていることを体感している。協議会の取組が地道に積み重ねられていることが、確実にSDGsの基盤構築につながっていると思う。この場で皆様からそれぞれのご意見をどんどん言っていただくことには大きな意味がある。どうしても会議室だと固くなりがちではあるとは思いますが、この意見交換の積み重ねは確実にプラットフォームづくりに効いていると外から見て思うので、本日短い時間ながらも、良い意見交換ができたと思う。後程また国の動向について、議論に応じて私の方から情報提供させていただきたい。本日もよろしくお願いいたします。

### 【5 議事】

(設置要綱第7条により、会長が議長となり進行)

会 長 それでは議事に入る。議事の円滑な運営にご協力をお願いしたい。

事務局 ((1)「令和5年度SDGs推進事業実施報告並びに予定について」資料1、参考資料1に基づいて説明。)

副会長 1.5℃の約束のキャンペーンについてご紹介させていただきたい。国連と日本国内のメディア、大体120社のテレビ局や新聞社などが手を組み、気温上昇の抑制を目的としたキャンペーンを行っている。その中で15秒のCMをいくつか作らせていただき、NCVの中で放送、或いはこちらのサイトで動画をご覧いただけるような取組をしている。前回の協議会で、「わたしのなせばなる」の目標登録件数が100件というお話もあったので、少しでも何かお役に立てることがないかということで「わたしのなせばなる」に申し込んでいただいた方に、NCVのCMに出演できるという企画のご提案をさせていただいた。早速いちみさんと窓のサッシのアルスさんの2団体からお申し込みを頂戴し、撮影に伺いCMを2件作らせていただいた。そのほかにも明星保育園さんのグリーンカーテンという取組や、愛の武将隊さんの壊れた装備も全部直して使いますというようなCMを作らせていただいた。まずアルスさんといちみさんの取組の動画をご覧いただきたい。

(動画を共有)

偶然にもアルスさんもいちみさんも廃材を利用されている取組のご紹介だが、いちみさんは先ほどご紹介にあった通りで、アルスさんは廃材を再利用してお箸を作っているということでご紹介をさせていただいた。今後も応募が増えていけばいいなと思う。私たちもPRするが、皆様もご紹介いただきたい。

アドバイザー 昨年度 SDGs の発信について研修をさせていただき、ご参加いただいた皆様が、その技術を使って米沢で実践されていることをすごく嬉しく思う。今回はさらに推し進めて、現場のフィールドワークも中心にさせていただこうと思う。できれば冒頭にご紹介いただいた NCV さんに取り上げていただくことを目指して頑張っていたらと思う。その好循環のサイクルができたらと思う。一言だけ添えさせていただくと、雰囲気づくりも大事にしたいと思っている。SDGs アカデミーということで SDGs アクションを発信するプロモーション技法の肝となるのは、発信。とはいえ、やはりコンテンツが元々の設計としてずれていると、どれだけプロモーションを頑張っても、たかが知れているので、きちんとこのアクションの生み出し方の部分、それからそのコンテンツ化の技術とその発信という 3 回セットを今回研修にしたいと思う。米沢市の皆様の中でも、やはりわくわくして取り組んでいる事例というのは、先ほどのパトランさんがまさにいい事例だと思いますが、すごく楽しそう。私も拝見しているが、すごくいいなと思います。そして、それを発信する。だからこのコンテンツと発信をセットにできるととても強くなると思っている。例えば、事例が適切かわからないが、フードロスをなくしたいという事例があったときに、普通に真面目に取り組むと、ごみを出さないとか回収するという発想になるが、佐賀県伊万里市にあるスーパーがフードロスをなくすためにどんなことをしているか動画をご覧いただきたい。

(スーパーの店員が歌い踊りながら値下げ商品を PR する動画)

これは日本一面白いスーパーということで大ブレイクしている。要はエンターテインメントとして楽しくやる。そうすると例えば、賞味期限が切れてしまうものが、その場のノリで楽しくなって、やっぱりこういうフードロスをなくすアクションは大事だよ、という感じで、ちゃんと環境に貢献できるお買い物ができるようになる。そういうものを楽しくやっていると地域が巻き込まれていく。こういう感じの設計ができるといいかなと思っています。今回の研修においては、このわくわく感というのを大事にし、コンテンツを作り、発信し、それを展開するというのをしようと思っています。昨年度の研修に参加された皆様も、もともと非常に上手だったのですが、実際にプレスリリースの技法を活用していただき、実装してとても活用しているところがすごく嬉しくて、それを今年度も推し進め、皆様の SDGs の発信にお力添えできればと思う。

事務局 ありがとうございます。我々事務局もこの研修すごく楽しみにしておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

会長 委員の皆様からご質問ご意見あるか。

委員 5月1日号の広報よねざわにパトラン山形を掲載いただきありがとうございました。またその後、広報よねざわをご覧になった NCV 様からお声掛けいただき、番組で特集を組んでいただいた。パトランの活動を通して、米沢市民の皆様がわくわくして過ごしていただけるような機会があればいいないつも思っている。毎回パトランに参加される方は、ごみを拾うと心がすっきりすると話しており、米沢を良くしたいという気持ちがそこに表れていると思う。その思いを生かせるようにこれからもこの活動を続け

ていきたいと思う。

SDGs の講座の周知については、過去の SDGs イベント参加者だけでなく、そこから広く声掛けするような工夫が必要と思う。

事務局 資料に記載しているように広報でも PR させていただく。今回も先生にサムネイルを作っていただくので、単に文字だけでなく、わくわくするようなサムネイルを活用して多くの方々に広げていくように努めていきたい。

会長 先ほど金融機関との関わりという話題がございました。何かございますか。

委員 初めて参加し、資料を見てきたつもりではあるが、なかなか雰囲気等も掴みきれていない中で拝聴しているところでは、我々としてもこの活動に対して、取り組むべきキーワードを考えていた。まず実践をし、それを伝えて広げるといことと捉えている。メディアの皆様の方をお借りすることも重要だが、金融機関という立場で何ができて、我々しかできないような伝え方を実践し、それを継続して広げていくということを念頭に置いて、この会議等にも参加していきたい。具体的にはこれから勉強して関わっていきたい。

会長 突然大変申し訳ありません。ありがとうございます。  
先ほどの報告の中の最初に、「わたしのなせばなる」で100件が目標というところ現在47件。今年度中に53件増えるか。

事務局 そこを目指してこれからも努力していきたい。次の2月の協議会には、なるべくそこに近い数字、或いは超える数字でご報告したい。

会長 目標の半分というのは何が原因か。

事務局 先生からも以前ご指導いただいたが、紙に書いて出すというところがどうしても手間なのではないか。一緒に書くなど工夫して進めていきたい。

会長 先ほどのスーパーの動画のように、楽しみながら、そんなに大変ではないというところを見せながら取り組んでいくと少し変わっていくと思う。今年1年頑張りましょう。  
他にご質問ご意見あるか。

委員 SDGs アクションの PR となると SNS がこれからもっと欠かせなくなってくると思う。どのような SNS で展開していくとこういろんな人にアクションを知っていただけるか。

アドバイザー 今回の研修における「発信」については、デジタルマーケティングを柱にしている。デジタルマーケティングの中の主要な位置を占める SNS には、非常に多くの種類がある。私もこの分野を専門の一つとしているが、どの SNS を使うべきかはターゲットによる。基本的に、誰に発信をしたい

のかを最初に確認した上で、それを見ている世代が使っているメディアを活用する。意外とこの分析をやったことがないという方が多く、インスタグラム、ツイッター諸々にしても、それを使うことが本当に正しいか否かの判断は、ターゲット、つまり、伝える相手によって違ってくる。また、そもそもコンテンツ力が高いと、どの SNS を使っても勝手に拡散される。そのため、コンテンツ力にこだわっている。さらに、オンライン上のリーチを重視し、昨年度の研修では PR TIMES の活用を実施し、市の皆様と一緒に導入のご支援をさせていただいた。各メディアにきちんと伝わるような形で、オンラインでプレスリリースを出し、それを SNS に展開する。この設計を上手に行うと、一気にコンテンツを拡散できる。このような視点を持って SNS 戦略を設計・実施するのが望ましい。

会 長 委員の皆様からご質問ご意見等あるか。

委 員 「わたしのなせばなる」の増やし方について。SNS の周知も必要だが、先ほど委員からあったように、米沢を良くしたいと思う気持ちは皆様あると思う。やはりウェブ上で記入するのが苦手な方もいると思うので、応募してもらおう機会も必要だが、募集だけではなく採取しに行くような取組があってもいいと思う。

事務局 いちみさんは、まさにそういった形で担当者がこちらから行かせていただいた。谷中先生からもいろいろご指導いただいた地域循環共生圏の中でも、やはり実際に行くことがすごく大事だとお聞きした。これからそういった活動を強めていきたい。

会 長 他に何かあるか。

委 員 SDGs 経営推進支援の診断ツールの開発について、SDGs の推進においては、こちらの項目を頑張ると別の項目が引っ込んでしまうというようなことも現象としてあると思う。そういったところも加味しながら、最大公約数のような形で事業を推進していけるような手助けとなるようなツールが想定されているか。

アドバイザー 今の質問は的確だと思う。米沢市の意向としては、ツールによって見える化することによって SDGs を促進するという効果を狙っていると思う。ただし、ツールの活用に寄り過ぎてしまうと、本質を見失うこともある。例えば、SDGs 17 分類の中で、ある目標の達成に集中して取り組むと、別の目標の達成と逆行するというトレードオフの関係になってしまうこともありうる。実際、企業経営では、見える化されたツールで SDGs の何番に特化するというように選択と集中をしてしまうと、逆に SDGs 全体の達成においてバランスを崩しやすくなるという実情がある。今、最大公約数という言葉があったが、やはり大元の考え方や行動様式を変えていかないと、この番号はできているが、こちらはできていないという状況になりがち。なので、ツールはあくまでバランスをとって展開されるべき。見える化して、それを加速させる考え方は良いものの、今のご指摘のように、1 個だけに集中するようなことになって、トレードオフの関係になってしまう

うと本質的ではない。俯瞰的な目線で、大元の考え方や行動様式を変えていくことにフォーカスするのが大事だと思う。

事務局 ありがとうございます。今の先生の意見も参考にさせていただきたい。また、委員からあったように偏らないというところも十分留意していきたい。加えて皆様方から意見をいただきながら、米沢市ならではの SDGs の取組というところも出せるようなツールを作っていきたい。その点についてはご意見等いただきたい。

会長 関連して、これからの米沢市として取り組む SDGs について何かご意見お持ちの委員の方いるか。徐々にいろんな案を出していきたいと思う。よろしく願いいたします。他にご質問、ご意見あるか。

委員 昨年は一度出席させていただき、素晴らしい取組をされている印象を持った。特に、先ほど委員からもあったが、実践して広げていくというようなどころにとっても力を入れている印象を持った。是非引き続き取組を進めていただければと思う。「わたしのなせばなる」の関係で一つお聞きしたい。目標 100 件に対して 47 件も集まったことは、私としては大変素晴らしいと思う。応募いただいた方々の取組の紹介と、応募いただいた後での応募された方の感想をご紹介いただきたい。

事務局 ご応募いただいた感想については、この取組について、応募してホームページに載せているということで、それをご覧いただいたというようなお声はいくつかお聞きしている。ただそれぞれについてアンケートはとっていない現状。また PR の仕方についても、先ほど申し上げた広報や、或いはホームページに載せていくことで、皆様方の取組を周知させていただいている。

委員 ありがとうございます。自分たちの取組がこのように紹介されたということでやる気を持ってもらうような形になれば、さらに応募の増に繋がると思う。

会長 今までの「わたしのなせばなる」の中の米沢信用金庫さんの取組をご紹介いただきたい。

事務局 米沢信用金庫様については、ホームページに掲載されているが、寄付活動などについて応募していただいている。加えてクラシックコンサートの後援や、様々な大会への後援をされているということで、ご紹介をいただいている。他にも各団体への支援というものをいくつか出していただいております。信金さんの活動は、この地域への支援などを応募いただいているというような状況。

会長 他に特徴的な取組をしているところをご紹介いただきたい。

事務局 上郷にあるリアクト米沢さんはバイオガス発電の取組をご応募いただいている。昨年度ご応募いただいたばかりだが、もうすでに様々な活動、さ

らに一步踏み込んだ活動をされており、バイオガスで出た残った残渣を肥料として使い、アスパラガスを栽培し販売している。はまだ牧場さんで作られたジェラートの販売もすでに始まっている。ここに掲載していただいているものからさらに進んだ取組をされている。

会 長 他にご質問ご意見あるか。

委 員 現在は「わたしのなせばなる」の各団体ホームページをクリックすると、ワードの文章が表示されるようになっているが、NCVさんの「1.5℃の約束」のような15秒～30秒の紹介動画が表示されるようにするとより良いと思う。文章だけではまだまだ取っつきにくい印象がある。将来的にはそれをそのままPR TIMESなどに持って行けたらよいと思う。

事 務 局 行政として文章の様式にこだわっているところがある。動画を作っている事業者も結構いらっしやると思うので、そういったものを市の様式に限らず、動画を紹介するような試みもできたらと感じた。また、市のホームページが見にくいというご意見もあり、ホームページをリニューアルする予定をしている。階層を超えていかなければならないのが今の市のホームページなので、見やすくする工夫をしていきたい。

会 長 他にご質問ご意見等あるか。なければ次に進みます。

事 務 局 (2)「SDGs 未来都市計画の進捗並びに見直しについて」資料2に基づいて説明)

会 長 皆様からご質問ご意見あるか。

委 員 健康長寿日本一推進プロジェクトの健康診断の受診率について、健康診断の受診率は本来100%にしないといけないと思う。受診されていない方の年代層の情報をいただきたい。

事 務 局 現時点で資料は持ち合わせていないので後程お伝えさせていただきたい。  
(※年代別の検診受診率は、(資料3)「令和3年度特定検診受診率(法定報告値)」のとおり。)

会 長 他にご質問ご意見あるか。

委 員 私は米沢ブランド戦略推進会議委員ということで呼んでいただいているが、TEAM NEXT YONEZAWAの登録件数も伸び悩んでいるという記載がある。SDGs推進協議会も数年前に始めた取組で、やはり先ほど解決方法について委員からもお話があったが、こちらのブランド戦略会議に関しても、待っているだけではなく、こちら側から出向いて米沢の宝を探しに行こうという流れになっている。SDGsはかなり広い分野ではあるかと思うが、SDGsが盛り上がれば、こちらのブランド戦略の方も盛り上がるという好循環になると思う。是非連携をお願いしたい。

ほかに環境面やいろんな取組ということで重点項目があるが、やはりSDGsが目的というよりは、未来に向けた米沢の繋がりを作っていくというところで、大切な取組だと思う。今ある現状がこうだから未来がこうというよりは、やはり2030年まで気づけばあと数年しかなくなっているが、そちらに向けて、バックキャストや逆算をしながらドラステックに、米沢市内の企業と連携をしながらアクションを進めていただければと思う。

事務局 ブランドのTEAM NEXT YONEZAWAとも連携を進めていく必要があると考えている。先ほど委員から、この周知方法をご提言いただいたが、我々の事業についても、TEAM NEXT YONEZAWAのメーリングリストの方に出させていただくなどと連携もさせていただいている。引き続き、連携をしていくような取組を進めていきたい。バックキャストというところは、行政の苦手な分野だと思うが、そういった視点も取り入れながら、今回は単なる見直しだが、今後の部分についても参考にしていきたい。

副会長 資料12ページのICT活用推進プロジェクトについて、もう少し具体的な事業内容、事業化数というところを、具体的にどういうところを目指しているかをお聞かせいただきたい。

事務局 ICT推進チームは、昨年度までの3年間、市役所の若手職員が様々な事業について取り組んできた。その中の事業について、実際に予算を伴うもの、或いは予算がないものについても、事業展開をしたものということで挙げている。具体的には今NCV様にもご協力いただいている鷹山流GIGAスクールの英語の関係を事業化ということで掲載をしている。

副会長 今お話があった鷹山流GIGAスクールで、英語の教材の動画を作る企画をされていて、弊社もお手伝いをさせていただきたいと思っている。

## 【6 その他】

アドバイザー 本日はオンラインで恐縮ながらも、皆様の議論をしっかりと聞かせていただいた。関連するところで気づいたところ、二点だけ申し上げたい。

一つは「わたしのなせばなる」の促進について。先ほど登録数の話もあったと思うが、全国的な傾向として、やはり見える化していくのが大事。ただ、行政ではどうしても量を求めるKPIになりがちなので、バランス感覚が重要。登録数として量は求めすぎるものではないが、一定の量は欲しい。

しかしながら、明快な価値がないと「登録してください」と言ってもその賛同者は増えない。逆に、明快な価値があると、賛同者が増える。これは実際の事例を見ていると明らかで、「事業者にとって登録の価値とは何なのか」を意識的に理解するとすごく攻めやすい。

一つは、掲載されるウェブサイトがイケているということ。先ほどUIの議論が出たと思うが、まさにその通り。今回、リニューアルを想定されているという話もあったが、行政のウェブフォーマットでデザイン性を求めるのは難しいという実情を理解しつつも、一定程度は見てかっこいいという仕上げを実現できると良い。また、行政のウェブに掲載されると信用力



が増すというのは強みなので、ここの部分も合わせてしっかり訴求する。

もう一つは、広報効果によって商談が広がるということ。NCVさんに取り上げていただけるということも、メリットとして大きいと思う。また、「わたしのなせばなる」に掲載されると、それを一つの実績として別の場に出やすくなって事業を広げるきっかけが得られるなど、「このように商談が広がります」という言い方をしていくと価値が伝わりやすい。商談に繋がることは民間企業にとって重要であるため、「ここに掲載すると引き合いが増えます」というように、名実ともに広がっていくと強い。

これらをきちんと伝えられることが、登録数を増やすという量的な成果を挙げる上で非常に重要だと思う。その際に、「掲載しませんか」というトーンでいくと、なかなか伸びない。そうではなく、「掲載するでしょ、もちろん」というノリでいけるかが大事。つまりは「誰が巻き込むか」によるということ。これはイベント周知でも同じで、一定程度はデジタルマーケティングで進めていけるが、地域内での展開の場合は、面白い人たちを抱え込んでいるボスキャラにどれだけ直接的にリーチできるかが重要。なので、丁寧に進めていくというやり方とともに、「やるでしょもちろん」という強い巻き込み力を持った行政の職員に表に立っていただけると良いと思う。

最後に、私から皆様へのご案内兼お勧めになるが、日本全国のSDGsを表彰する環境省グッドライフアワードについてご紹介したい。今年度で11年目となり、年々応募数が増えている。私は、総合プロデューサーとして、ほぼ1人で事業運営の総指揮を執っている。簡単に言うとローカルSDGsの表彰制度で、環境大臣賞や個別の特別賞も含めて、1年でトータル30～40件程度を表彰する。景気づけも大事ということで、今日お集まりの委員の皆様の団体・会社様、ないしは、委員の皆様が仲良くされている団体様で、もし良いと思う取組があればご活用いただきたい。

国で表彰されると、いろいろ発信しやすい。むしろ、そのように活用していただきたいと考えて設計している。委員の皆様方の取組は受賞候補ばかりなので、良かったら活用していただけたらと思う。大臣賞だけでなく、企業や学校などに特化した特別賞など、個別の賞を用意してもらっている。

委員の皆様が受賞して、全国レベルになっていただき、市民の皆様が盛り上がってくると、「米沢市すごい」という話になると思う。今季は9月末までエントリーを受け付けているので、活用していただけたらと思う。皆様自身にフロントに立っていただき、米沢を発信していくということをお勧めしたいと思い、ご案内をさせていただきました。

表彰が現実化すると、それにつられて市内でいろんな取組されている皆様も「私もやってみたい」とか「なせばなるに登録しなきゃ」というような動きとなり、プラットフォームづくりの後押しにもなる。本日はオンラインであったが、できるだけ現場で皆様と顔を合わせて出席していきたい。

## 【7 閉会】